

秋田県の JICA 海外協力隊 4 名、アジア、アフリカ、中南米へ出発

自身の知識や技術を途上国で活かしたい

国際協力機構(JICA)は、2019年12月から翌年1月にかけて、秋田県出身の4名を青年海外協力隊、シニア海外協力隊としてモンゴル、ネパール、ウガンダ、ホンジュラスへ派遣します。4名は、日本で培ったそれぞれの経験と知識を活かし、現地で人材育成や地域医療にあたります。

派遣に先立ち、11月25日に秋田県庁で川原副知事を表敬訪問するほか、それぞれの出身地に表敬訪問します。秋田県出身のJICA海外協力隊(※)への取材・報道、個別インタビューを是非ご検討ください。

※JICA海外協力隊には、青年海外協力隊、シニア海外協力隊、中南米地域の日系社会への協力を活動内容とした日系社会青年海外協力隊等があります。派遣者は書類および面接によって選考され、派遣前に70日間程度、訓練を受けます。派遣期間は原則2年間(短期派遣は除く)で、年3回、各国に派遣されます。

表敬するボランティア4名の派遣国、職種、参加動機、抱負などは別紙をご参照ください。

<表敬訪問日程 (実施日時順)>

(敬称略)

表敬先	日時・場所	表敬者
由利本荘市 市長 長谷部 誠	11月22日(金)14:30~14:40 由利本荘市役所 2階応接室	嵯峨 和夫
秋田県 副知事 川原 誠	11月25日(月)11:00~11:15 県本庁舎3階 第1応接室	柴田 夏実、佐竹 咲希 嵯峨 和夫、小松 葉瑠
秋田市 市長 穂積 志	11月25日(月)15:15~15:30 秋田市役所 市長応接室	柴田 夏実、佐竹 咲希
大仙市 市長 老松 博行	11月27日(水)10:00~10:30 大仙市役所 2階応接室	小松 葉瑠

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 秋田デスク(担当:野口)

TEL/FAX:018-893-5313 E-mail:jicadpd-desk-akitaken@jica.go.jp

※このプレスリリースは、秋田県庁記者クラブで配布しています。

出発者4名の派遣国、職種、参加動機、抱負など ※年齢は、すべて表敬日現在のものです。

■秋田県から出発する JICA 海外協力隊/2019 年度 2 次隊 ※括弧内は、ふりがな・出身市・年齢

嵯峨 和夫 (さが かずお・由利本荘市・63 歳)

シニア海外協力隊 / 派遣国:ウガンダ 職種:電気・電子機器 配属先:職業訓練校

これまで培った自分の知識やスキルを活かして、発展途上国の成長の為に尽力したいと思ったため、参加を決意しました。

職業訓練校において現地指導員を対象に、日本が供与した機械を効果的に活用するための技術移転と指導を行います。文化や習慣が異なる環境の中ですが、しっかりと活動に取り組み、ウガンダの発展に寄与していきたいと思えます。

柴田 夏実 (しばた なつみ・秋田市・28 歳)

青年海外協力隊 / 派遣国:モンゴル 職種:幼児教育 配属先:幼稚園

幼い頃に、テレビ等のメディアを通して世界の現状を知り、自分もいつか国際協力に携わりたいと考えるようになりました。

幼稚園で、2～5 歳児を対象に、遊びを通した学びが得られるよう様々な教育方法を提案し、現地の教員と共に実践します。また、廃材等身近なものを使った製作遊びの紹介や指導案作成の助言等も行う予定です。現地の人々に寄り添った活動を行いたいです。

佐竹 咲希 (さたけ さき・秋田市・26 歳)

青年海外協力隊 / 派遣国:ホンジュラス 職種:理学療法士 配属先:リハビリセンター

海外での暮らしや異文化理解に興味がありました。実際に現地でも生活し、異文化交流ができる事、また自分の資格を活かし活動できることに魅力を感じ、参加しました。

リハビリセンターの理学療法士を対象に、治療技術の紹介や助言を行う予定です。同僚と共に患者さんへの理学療法を行っていきながら、現地スタッフとの信頼関係を築き、患者さんへの治療効果を上げていきたいと考えています。

小松 葉瑠 (こまつ はる・大仙市・23 歳)

青年海外協力隊 / 派遣国:ネパール 職種:体育 配属先:公立学校

大学の指導教員に紹介され、青年海外協力隊に興味を持ちました。また、海外の体育教育に携わってみたいと思ったため、応募しました。

現地のスポーツ教員と協働し、体育授業を実施する予定です。また、体育の授業が十分実施されていない学校を巡回し、実施支援も行う予定です。一方的な指導・支援ではなく、現地の先生方の立場となり、共に考え、実施し、体育科教育の普及に努めたいと考えています。

以上